

平成19年度常任理事会議事録

全日本プラスチックリサイクル工業会
愛知県名古屋市東区相生町55番地
TEL 052-931-1211
会長 磯野俊雄

開催年月日 平成20年3月5日(水)午後2時より4時30分まで

開催場所 名古屋市中区錦3-18-21
東京第一ホテル 錦
TEL 052-955-1001(代表)

出席者 磯野氏、大塚氏、進藤氏、増沢氏、山下氏、中山氏、浅野氏、藤井氏
高田氏、武田氏、酒井氏、田中氏、石田氏、本城氏、二井氏。
事務方 杉浦、浅野 計17名

欠席者 石塚氏、井上氏、中村氏、飯島氏、小池氏、江上氏

議事

1. 総会について

イ)開催日について

日時 平成20年6月17日(火)

場所 名古屋市中区錦3-18-21 東京第一ホテル TEL 052-955-1001

※懇親会のパーティの会費(常任理事、理事を除く会員)

個人会員—総会出席OK!—懇親会有料5,000円/人(当日徴収)

ブロック会員— “ — “ 5,000円/人(後日ブロック単位で徴収)

*ブロック会員については、各事務局より案内をお願いします。

ロ)タイムスケジュールについて(今回は勉強会を実施します。)

常任理事会 午前11:00~午後0:30まで(常任理事、相談役)

昼食 午後 0:30~午後1:00まで 軽食(サンドイッチとコーヒー)

通常総会 午後 1:15~午後2:00まで

勉強会 午後 2:00~午後3:00まで(総会終了後5分間トイレ休憩とってから)

NPO 法人 エコキャップ推進協会 理事長 笹森清さん

「エコキャップリサイクル」について(30分間)

愛知県環境部 資源循環推進課 丹羽崇人さん

「全国初の再生資源活用審査制度」について(30分間)

懇親会 午後 3:00~午後5:00まで

*会員を除き社員出席の場合、会費1万円にてお願いします。

ハ) 仮決算報告について 一事務局会計担当の浅野氏説明

平成19年度の収支予算を実績比較表にもとづき、詳細な説明を受け承認を得た。

二) 事業計画(案)、予算(案)について

* 総会の折、上記勉強会の講演を行う。

* HPの開設費、宇部興産㈱の特許出願に関する異議申し立て費用、定款修正にともなう製本代等の見積り予算の計上を行う。

2. 全日本のホームページについて

全日本のホームページを独立開設する方向で進めていく。総会までに見積りをとっておく事。

* 全日本のホームページに常任理事会議事録載せてあります。(フジイ化工㈱で検索して下さい。)

3. 定款の修正案決定及び製本について

定款の修正案(別紙参照)と製本作成は承認を得た。

4. 宇部興産㈱の特許出願について

浅野専務理事による詳細な説明後、協議した結果、ソニー㈱と同様に異議申し立てをする方向(阻止する)で進めていく。

5. リサイクル推進協議会の表彰について

平成20年度は「関東ブロック」の会員から推薦する。

但し、ブロックによって会員数が異なるため、公平性という立場から五つのグループに再編し、そのグループ中で協議してもらい推薦する。

年度	グループ	各ブロック名(会員数・・・多少増減はあります)
H20年度	A	関東プラスチック(46社)
H21年度	B	東日本プラスチック(34社)、日本有効(5社)
H22年度	C	愛知県プラスチック(36社)
H23年度	D	北陸合成(5社)、九州プラスチック(6社)、個人会員(6社)
H24年度	E	関西プラスチック(13社)、京滋プラスチック(12社)

グループの動き(A→B→C→D→E)

6. その他

イ) 全日本プラスチックリサイクル工業会の20年、21年の日程決定について(報告)

愛知ブロック関係分について(場所-東京第一ホテル予約済)

平成20年6月17日(火) 通常総会

平成21年3月 5日(木) 常任理事会

平成21年6月16日(火) 通常総会(役員改選)

* その都度早めに連絡は致しますが、多数出席願いたく、日時を決めさせていただきました。誠に勝手ですが予定表に記入しておいて下さい。

ロ)新聞記事による情報について

- *「全国初の再生資源活用審査制度－愛知県庁」 総会時にて勉強会の開催(講演)決定
- *「再生樹脂の偽装」

ハ)海外の環境規制について

「ROHS(ローズ)指令」「REACH(リーチ)規制」「WEEE(ウィー)指令」他

ニ)愛知県クリーニング生活衛生同業組合と愛知県プラスチックリサイクル協同組合が協力し、「クリーニング包装資材リサイクル実験」を実施する。

〔目的〕

クリーニング業界では、現在、クリーニング後の衣類等をポリ袋等で包装して、消費者に返却しているが、平成22年度には、容器包装リサイクル法がみなおされ、今より更に業界に厳しい状態となるとの情報もあることにより、クリーニング業界では、容器包装リサイクル法の改正前に、クリーニング包装資材を自主回収し、リサイクルを行いたいと考え今回の実験にいたったものである。

〔方法〕

国(厚生労働省)及び愛知県の補助金を受けて、(財)愛知県生活衛生営業指導(協)センターが、愛知県クリーニング生活衛生同業組合及び愛知県プラスチックリサイクル協同組合の協力を得て、平成19年度、平成20年度の2ヶ年をかけて「クリーニング包装資材自主回収実験」及び「クリーニング包装資材リサイクル実験」を実施するものである。

ホ)NPO法人 エコキャップ推進協会

ペットボトルのキャップを外してリサイクル

関東の進業化成(株)の進藤社長よりパンフレット持参による詳細な説明があった。結果的には、総会時に勉強会の開催(講演)決定。

ヘ)市況分析

(国内)

- ・トヨタG内では、廃棄物の減少を目的に社内でリサイクル材の使用方向で模索している動きがみられる。
- ・景気の悪い中、材料の在庫管理等、3S・5S運動を社内展開し、ムダをなくすことで頑張っている企業がある。
- ・ルーダー着色コンパウンドが減っており、その分ブレンド加工が増えている。(コスト削減の為)
- ・取引先企業からここ2～3年、ISO14001(環境)認証取得の要請が多くなってきている。
- ・関東ではISO14001にかわるものとして、エコアクション21の勉強会を開催したが、その後進んでいない。

(海外)

依然として品不足の中、品物の取り合いで輸出は低調ぎみであります。その上に中国側の環境の問題もありパーゼル法に係わるものとか、CCIC(日中商品検査)に係わる品質のチェックがより厳しくなっており輸出にそれなりに影響が及んでいると思います。

・昨年の10月に輸入禁止廃プラスチック品目を発表しましたが、今年の3月1日からもまた、発表しました。(使用済のハイプラ袋、廃魚網、膜、廃麻袋、その他)